

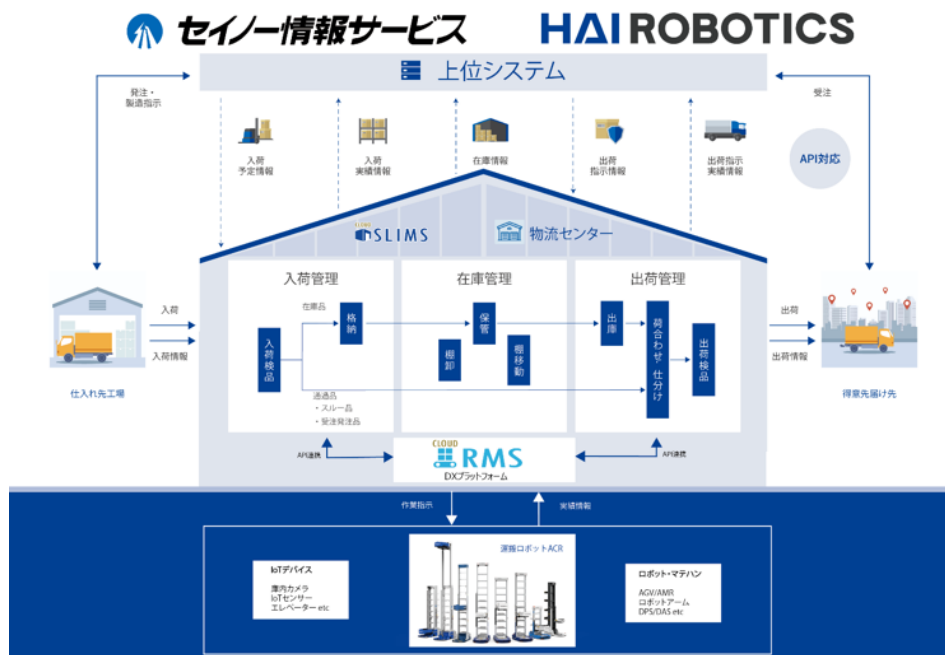
HAI ROBOTICS JAPAN、セイノー情報サービスと国際物流展に共同出展

～マスト昇降式 ACR「^{ハイピック}HAIPICK A42T」のデモンストレーションを初披露～

HAI ROBOTICS Co. Ltd.(本社:中華人民共和国深圳市、CEO:^{チェン ウキ}陳 宇奇、以下「HAI ROBOTICS」)の日本法人である、株式会社 HAI ROBOTICS JAPAN(本社:埼玉県入間郡、代表取締役:^{リュウ コウ}劉 竑、以下「HRJ」)と株式会社セイノー情報サービス(本社:岐阜県大垣市、代表取締役社長:林 秀樹、以下、「SIS」)は、2022年9月13日より東京ビックサイトで開催される「第15回 国際物流総合展 2022」に共同出展し、マスト昇降式 ACR(Autonomous Case-handling Robot:自動ケースハンドリングロボット)「HAIPICK A42T」の国内初となるデモンストレーションを実施します。

これは今後の協業を見据えた両社の最初の取り組みとなります。HAI ROBOTICS の ACR と SIS 社のロジスティクスソリューションが組み合わさることにより、オペレーションシステムからロボティクスまで包括的なサービス提供を実現します。さらに DX プラットフォームである RMS(Robots Management System:マルチロボット管理システム)を用いることで、前後の工程において他のデバイス・ロボットともシームレスな連携が可能になり、ACR を中核とした庫内オートメーションを可能にします。

「HAIPICK A42T」は、マスト昇降式 ACR で、最大 10m までのラックからケースをピックアップし、また、保管に対応できます。3D ビジュアル認識機能により、プラスチック製トートだけでなく、段ボール製カートンにも対応します。伸縮昇降式で区画を跨ぐ防火シャッター下を通過する際に高さを調整して区画横断が可能です。



HAI ROBOTICS「HAIPICK A42T」と SIS 社ソリューション連携イメージ

【株式会社セイノー情報サービス 東日本営業部 営業二グループ 主任 馬場武志氏のコメント】

「弊社はセイノーグループの一員であり、外販事業においては倉庫管理システム「SLIMS」を中心に 20 年以上にわたり物流ソリューションの開発・提供を行って参りました。

昨今では労働力不足の深刻化に加えて、働き方改革やコロナ禍による 3 密の回避、EC 需要の高まりによる作業の複雑化など、物流業界は変革期を迎えています。このような中で、弊社では BRAIS (Big Data、Robot、AI、IoT、Sharing の総称) というキーワードを掲げ、物流現場への最新技術導入 (DX 化) を行っており、従来から求められていた標準化・効率化に加えて、省人化・自動化も推進しています。

BRAIS の一つであるロボットの領域においては、HAI ROBOTICS JAPAN 社との強力なパートナーシップの下、お客様の物流改革を目指しています。ACR システムは販売物流のみならず、調達物流や工場物流など幅広い領域で、入出荷の生産性を大きく向上する事が出来るロボットです。弊社がこれまで培ってきた物流ノウハウにもとづく業務設計や SLIMS・RMS をはじめとした物流ソリューションを組み合わせることで、ACR システムのパフォーマンスを最大化できる環境をコーディネートし、お客様のロジスティクス・リビルドを実現致します。」

報道関係の皆さまの当日の取材も可能です。取材や撮影を希望される方は、広報担当まで事前にご連絡ください。

第 15 回 国際物流総合展 2022

■ 開催概要

日時: 2022 年 9 月 13 日 (火) ~ 16 日 (金) 10:00 ~ 17:00

会場: 東京ビッグサイト (東京国際展示場) 東 1 ~ 8 ホール
東京都江東区有明 3-11-1

小間番号: 東 7 ホール ブース 7-101 表示名「株式会社セイノー情報サービス」

入場料: 3,000 円 (消費税込) ※ただし、招待状・事前登録証持参者は無料
事前登録は [こちら](#) から

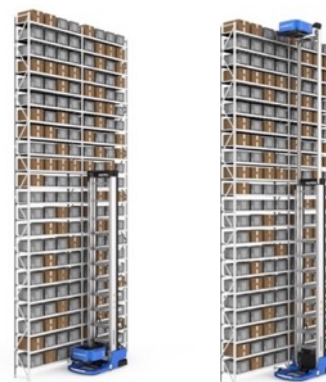
■ 共同出展ソリューション

➢ HAI ROBOTICS JAPAN 出展内容

HAIPICK ACR システム「HAIPICK A42T」※デモンストレーションあり

HAI ROBOTICS が独自に研究・開発したマスト昇降式の ACR です。プラスチック製トートや段ボール製カートンの両方をピックアップ可能で、また、高さ最大 10m までのラックからのピックアップ、保管が可能のため倉庫の保管密度を高めることができます。

HAIPICK ACR システムは、弊社主力製品で、グローバルで総計 500 件以上の導入実績があります。



カートン/トート混合ピックアップ マスト昇降式 ACR「HAIPICK A42T」

➤ セイノー情報サービス出展内容

- ① 倉庫管理システム「SLIMS」
- ② 統合物流管理システム「LMS」
- ③ 在庫物流リソース管理システム「LMS-PSI」
- ④ 物流可視化システム「LOGISTICS・COCKPIT」
- ⑤ レイバーマネジメントシステム「FLabor」
- ⑥ AI 検品システム「iSCAN」 他

※いずれもブースにてデモンストレーションあり



株式会社 HAI ROBOTICS JAPAN について

HAI ROBOTICS Co. Ltd.は 2016 年に中国深圳市で設立された、ACR システムのパイオニアです。工場、物流倉庫などの事業者にはロボット技術と AI アルゴリズムにより、効率的でスマートであり、柔軟でカスタマイズされた倉庫オートメーションソリューションを提供しています。設立以来、グローバルなニーズを取り込み、自社開発した包括的な ACR システムの提供を通して急成長し、2021 年 12 月に発表された胡潤研究院の「ユニコーン・ランキング・リスト」にもラインクインしています。

HAI ROBOTICS Co. Ltd.の日本法人として 2021 年に設立された(株)HAI ROBOTICS JAPAN は、ACR システムの導入から運用・支援までのワンストップ提供を通じ、物流および製造業界の自動化・DX の推進を目指し、日本国内に特化した事業活動を行っています。2022 年 3 月に本社内に HRJ テクニカルセンターをオープンし、デモンストレーションならびに各種シミュレーションを行なっています。

代表取締役: 劉 竑(リュウ コウ)

所在地: 埼玉県入間郡三芳町竹間沢東 4-6

事業内容:

- ・各種 LA(Logistics Automation)、FA(Factory Automation)自動運搬機のトータルソリューションの提案
- ・自動搬送車(ACR、AGV などを含む)及び各種周辺設備の開発、販売

設立: 2021 年 8 月 25 日

資本金: 7,735 万円

URL: <https://www.hairobotics.com/jp>

株式会社セイノー情報サービスについて

代表取締役社長: 林 秀樹

本社所在地: 岐阜県大垣市田口町 1 番地

事業内容:

- ・一般企業の物流ソリューション提供(外販事業)
- ・セイノーグループの情報戦略展開(内販事業)

設立: 1984 年 3 月 1 日

資本金: 100 百万円

URL: <https://www.seino.co.jp/sis/about/compinfo/>

参考資料

株式会社セイノー情報サービス展示会セミナー

- 9/14(水)11:00～11:30 セミナーB 会場 定員 100 名(先着順)
調達物流の課題を解決する！ ～輸配送コストとCO2削減の両立に向けて～
株式会社セイノー情報サービス 東日本営業部 営業三グループ 部長 佐野直樹氏

- 9/16(金)13:40～14:10 セミナーA 会場 定員 100 名(先着順)
物流ロボット成功の秘訣 ～ロボット導入において考慮すべき視点～
株式会社セイノー情報サービス 東日本営業部 営業二グループ 主任 馬場武志氏

お申し込みは当日先着順となります。詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.logis-tech-tokyo.gr.jp/index.html>